

1. レジ袋削減への取組の概要

- ・ マイバッグ持参に取り組む市民団体「マイバッグ推進ふくおか市民の会」、レジ袋削減に取り組む事業者及び福岡市の三者で、「レジ袋削減に関する協定」を締結し、三者の役割を明確にした上で意見交換するとともに、共同キャンペーンを実施するなどによりマイバッグ持参によるレジ袋削減を推進するものである。協定における三者の役割は以下の通りである。

【事業者の役割】

- 平成 25 年度までのマイバッグ持参率の目標（50%以上）を定め、その目標を達成するための取組を複数実施する。
- 持参率、具体的取組の実施状況の実績を市に報告する。

【マイバッグ推進ふくおか市民の会の役割】

- マイバッグ持参に取り組む市民（団体）を募集し、マイバッグ持参の市民の輪を広げる。
- レジ袋削減に取り組む事業者を支援するとともにその取組を見守る。
- 市の啓発活動に協力する。

【市の役割】

- 協定に参加する事業者を募集する。
- 市民啓発等によりレジ袋削減に取り組む事業者を積極的に支援する。
- 事業者から実績報告を受け、市民に公表する。
- ・ レジ袋有料化への参加店舗数は、スーパーマーケット 58 店舗、生協・大学生協・農協 12 店舗、その他 230 店舗である。
- ・ 特典提供方式への参加店舗数は、スーパーマーケット 119 店舗、ドラッグストア 24 店舗、生協・大学生協・農協 5 店舗、その他 36 店舗である。
- ・ 現在のレジ袋辞退率は、50.7%である。

2. レジ袋有料化による削減の効果の要因について

- ・ 福岡市では平成 19 年度からレジ袋削減の取組を実施しているが、取組に参加している事業者のうち、全国展開の大手スーパーマーケット及び地場のスーパーマーケットがレジ袋を有料化したことでマイバッグ持参率が上昇し、レジ袋の削減につながったと考える。
- ・ また、福岡市レジ袋削減の協定参加事業者のうち、クリーニング店については、マイバッグ持参率が9割を超えている。クリーニング専用のサイズの大きなバッグを配付しており、衣類の受け渡し時にマイバッグを利用することが定着していると考

えられる。

3. レジ袋有料化以外の方式（特典提供、その他）による削減の効果の要因について

- ・ マイバッグを持参する動機付けとしてポイント付与やレジ袋の経費相当の代金を割引するサービスを行っていた事業者が、サービスを中止したことによりマイバッグ持参率が下がったという実績がある。やはり、マイバッグの持参を動機付けする取組が持参率の向上に効果があると考えている。